

尾張旭市学校給食運営委員会議事要旨

1 開催日時

平成30年2月9日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後2時25分

2 開催場所

尾張旭市学校給食センター 食育指導室

3 出席委員

金森 俊輔、永田 義人、根橋 通孝、河田 志乃、比良 裕美、吉田 智子、星野 敦子、
柿原 緒恵、中筋 敏文、岩田 悠子、姫岩 弘治、藤井 政勝、堀田 実

13名

4 欠席委員

伊藤 貴子、水野 茂 2名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

教育部長 萬谷 久幸、所長 鬼頭 純子、係長 戸田 慎也、副主幹 角谷 寿美江、
栄養教諭 曾根 規容子・浅野 絵梨・林 紫

7 議題等

(1) 報告事項

ア 平成29年度学校給食実施状況について

イ 平成29年度学校給食センター食育事業（4月～12月）について

(2) 協議事項

ア 平成30年度学校給食センター事業計画について

イ 平成30年度学校給食センター食育事業計画について

(3) その他

ア 食品の温度測定について

イ 就学時食物アレルギー対応説明会の開催について

ウ 学校給食における食物アレルギー対応の変更について

8 会議の要旨

委員長	<p>本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。</p> <p>ただ今から平成29年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会を開催いたします。</p> <p>なお、伊藤、水野委員より欠席する旨の連絡をいただいておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、過半数の委員の出席をいただいておりますのでこの委員会は成立しています。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、教育部長より挨拶をお願いいたします。</p>
教育部長	<あいさつ>
委員長	<p>ありがとうございました。報告事項、協議事項と続きますが、関連する内容ですので、特に協議事項について、話を深めていけたらと思います。</p> <p>それでは、報告事項(1)平成29年度学校給食実施状況について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<報告事項(1) 平成29年度学校給食実施状況について> 説明
委員長	<p>質問等も無いようですので、「報告事項(2) 平成29年度学校給食センター食育事業(4月～12月)について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<報告事項(2) 平成29年度学校給食センター食育事業(4月～12月)について> 説明
委員長	<p>ただいま、12月までの経過報告をしていただきました。学校給食センターは、子どもたちへの安全安心な給食の提供について取り組んでいます。この場を借りまして、感謝申し上げます。</p> <p>質問等も無いようですので、続きまして、「協議事項(1) 平成30年度学校給食センター事業計画について」です。平成30年度はどのように事業を展開していくのか、事務局、説明をお願いいたします。</p> <p>なお、協議事項の承認については、一括して行います。</p>
事務局	<協議事項(1) 平成30年度学校給食センター事業計画について> 説明
堀田委員	<p>1月の学校給食週間の際に、毎日の献立紹介の放送原稿を送っていただきましたが、良い内容だったと思います。これは毎年実施しているものですか。</p>
曾根栄養教諭	毎年実施しています。
委員長	<p>地産地消について、平成30年度も引き続き実施していただけるとのことですが、新たな食材はありますか。</p>
曾根栄養教諭	<p>あいち尾東農業協同組合と連携して実施していますが、新たなものについては今のところ聞いていません。ただ、今年度は冬野菜が不作して、必要量の獲得に苦労しましたので、量を確保できるようにしていきたいと思</p>

	っています。
委員長	野菜は天候に左右されますし、その点も放送原稿に加えていただくとより良いものになると思います。
堀田委員	給食の時間中は、普段は放送委員が音楽をかけたり、学校でのニュースを紹介したりしています。耳から入る情報により、給食に興味を持てるようにできたらと思います。
曾根栄養教諭	毎日は難しいですが、放送原稿を検討していきたいと思います。
委員長	他にないようですので、引き続き、「協議事項(2) 平成30年度学校給食センター食育事業計画について」事務局からお願いします。
事務局	<協議事項(2) 平成30年度学校給食センター食育事業計画について> 説明
委員長	12個の事業は、新規ですか、継続ですか。
事務局	4つ目以外は継続です。
中筋委員	学校の新入生説明会資料の袋詰めを手伝いましたが、その中に朝ごはんについてのパンフレットがありました。給食についての説明資料はなかったと思います。献立表は毎月配布されていますが、給食は毎日の食育であり、必要性を保護者に説明する機会があったほうが良いと思いますが。
曾根栄養教諭	給食センターからは、説明資料は配布しておりませんし、説明会も開いておりません。
河田委員	入学説明会に受付の手伝いで参加しましたが、その際に、医師が食事の大切さを話してみえました。また、学校からの保健だよりに食事の大切さについて、掲載されていることもあります。
曾根栄養教諭	説明会の内容は学校ごとで違いますか。
堀田委員	学校ごとで違います。
委員長	学校ごとで違いますので、集めていただいて、参考にさせていただいてもいいかもしれません。 学校で行う給食の試食会で、校長としてあいさつをする際に、「いただきます」「ごちそうさま」の意味を話しますと、全ての方が知っていることは少ないです。学校ごとで食事の大切さは話していると思います。
金森委員	皆が食べられる学校給食の日は、7大アレルゲンを除去とありますが、どのような献立で、完食率はどうでしょうか。
曾根栄養教諭	献立には苦慮しておりますが、必要な栄養価をとる必要がありますが、7大アレルゲンのほか、肉類は使用しておらず、代わりに大豆を使用したものが主な献立となります。子どもたちも慣れてきていますので、例えば、ツナの甘辛煮など、人気のあるメニューもありますし、残食も少ないです。 1人でも多くの子どもたちが、同じ献立を食べられることが大切だと思っています。

金森委員	コスト面はどうですか。
曾根栄養教諭	通常の給食とと大きな差はありません。
金森委員	大きく変わらないのであれば、もう少し回数を増やせられたらと思います。
曾根栄養教諭	検討します。
委員長	他に無いようであれば、一括での承認としますが、承認いただける方は、拍手をお願いいたします。
委員	《拍手》
委員長	ありがとうございました。 それでは、続きまして、「4 その他」について、事務局お願いします。
曾根栄養教諭	<(1) 食品の温度測定について> 2学期から各校の配膳室において、給食の温度測定を始めました。より衛生管理を徹底していくためです。
浅野栄養教諭	<(2) 就学時食物アレルギー対応説明会の開催について> 新1年生のうち、卵・乳アレルギー対応給食希望者の保護者を対象に、平成29年11月29日に説明会を開催しました。栄養教諭と養護教諭から、アレルギー対応給食の概要や手続きの流れ等を説明しました。
	<(3) 学校給食における食物アレルギー対応の変更について> 食物アレルギーの対応について、国及び愛知県から方針が示され、それに基づき、安全性を最優先させ、事故防止の徹底を図るため、平成30年度から量の多少やアレルギー症状の程度に関わらず、アレルゲンを含む食品、料理を一切提供しないことになりました。平成29年12月に保護者宛に文書を送付しております。
委員長	質問はありますか。
金森委員	12月の文書を患者から入手しました。国及び県から指針が示されていますし、学校現場での先生のご苦労など、給食センターでのアレルギー対応給食については、命に関わることであり、しっかりやっていたらと思います。2点意見があります。 1つ目は、配布は12月ですが、それ以前から一部の対象者については、1学期は食べていたのに、ある日突然食べてはいけなくなった事例がありました。事故を防ぐにはやむを得ないことだとは思いますが、食への楽しみやアレルギーを改善していく過程の子供たちも多数いますので、本人たちに説明して納得してもらった上で進めていただきたいと思っております。 2つ目は、文部科学省から食物アレルギー対応については、地方自治体ごとに様々な立場の専門家を集めた委員会を作り、そこで個々の事例に対応したり、市として方針を決めたりするように通知があったと記憶しています。大きな対応の方針を変更するに当たって、尾張旭市には世界的なア

	<p>アレルギー専門の医師もおられますので、その医師を交えながら、委員会を立ち上げて、いろいろ検討しながら進めていってはどうでしょうか。本日は教育部長もお見えですので、前向きに検討いただきたいと思います。</p> <p>なぜ必要かといいますと、患者でとても苦勞している方がいて、ある公立病院の医師とタッグを組んで治療に当たっております。1つ目で言いました、突然の変更で戸惑っております、私とその医師もどういったことなのかと戸惑っています。その医師からも伝えて欲しいと頼まれました。</p>
堀田委員	<p>温度測定についてですが、今週の献立でショウロンポウの温度がいつもより低いことがあり、用務員が心配して報告に来ました。献立によって設定温度が違うようであれば、あらかじめ教えていただきたいと思います。</p>
曾根栄養教諭	<p>温度が徐々に下がり、その温度になったと思いますが、外気温が低いため、いつもより低くなったと思います。通常、温度が低くしなければならぬものが高くなるのが一番危険ですので、暖かいものが下がってくるのは、安全性を考えれば問題ありません。一番怖いのは、夏場に外気によって、和え物の温度が上がったときです。心配な時は、お電話ください。</p>
委員長	<p>今日が最後の委員会となりますが、他にご意見はいかがでしょうか。</p>
教育部長	<p>金森委員からのご意見については、前向きに検討したいと思います。教育委員会として検討していることをお伝えしたいと思います。</p> <p>運動会予備日などは、現状は給食なしとなっておりますが、これについては、市長からの指示もあり、弁当が用意できない家庭もある中で、給食を提供することを検討しています。給食が中止になっても、市が責任を取るということで、給食ありきで行事を進めていく。学校現場と校長会を通して調整しております。</p> <p>台風の時も同様です。直撃する場合は別ですが、今までは進路を見て判断していましたが、原則は給食を提供する、食材などを発注してから中止にすると、何百万円と無駄になってしまいますが、例えば、春日井市のように食材を販売するなど、発想を変えて検討しています。</p>
委員長	<p>学校では、温度測定をして、より安全安心に配慮することになり、手間もかかりますが、的確に給食センターからご指示いただきまして取り組んでいます。ただ、新しいことをしようと思うと、すぐにはうまくいきませんので、その点については、お互い知恵を出し合って進めているという状況です。市長からできる限り給食の提供をするようにと指示があり、現在は共働きの家庭も多いですし、配慮していただいているかと思います。</p>
曾根栄養教諭	<p>皆が食べられる学校給食の日に、多くの児童生徒が食べられるように、乳・卵・小麦を使っていない「いちじくマドレーヌ」を事業者と開発し、1月の学校給食週間に給食で提供しました。米粉と豆乳を使い、尾張旭市産のいちじくを使っております。ご意見がありましたら、来年度に向けて</p>

	参考にしたいと思いますので、試食していただきたいと思います。
事務局	《いちじくマドレーヌ配布》
副委員長	安全安心で1つ思い出しました。既に改善されているかもしれませんが、息子が現在5年生で、2年生のときですので、3年前になるかと思いますが、おでんにこんにやくが入っていて、のどに詰まらせたことがありました。
曾根栄養教諭	当時は、玉こんにやくを使っていたので、担任の先生が気づき、事なきを得たと思います。それ以降は玉こんにやくは使っていません。のどに詰まらせるとは思ってもいませんでしたが、潜んでいる危険についても注意したいと思います。
副委員長	里芋は大丈夫なんですか。
曾根栄養教諭	丸いものは出していません。他の食材も形を確認してから出しています。
委員長	これ（いちじくマドレーヌ）は1個いくらぐらいですか。
曾根栄養教諭	約70円です。
事務局	今年度、値上げをさせていただいたおかげで、デザートを増やしたりすることができました。昨年度は月2回でしたが、今年度は4回以上出せるようになりました。また、食材も少し良いものも使えるようになりましたので、よりおいしく食べてもらっているのではないかと思います。
岩田委員	おいしいです。牛乳を処理するのにコストがかかるとお聞きしましたが、1本の量は200ccですか。
事務局	そうです。
岩田委員	小さくはできないのですか。
曾根栄養教諭	小さくはできないので、全部飲めない場合は、半分だけ飲むなどしています。毎日200cc飲まないと栄養価としては足りません。小1から中3まで同じ量にはなってしまいますが、最初は1口から始め、少しずつ量を増やしていくかたちです。
委員長	他に無いようですので、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。長時間にわたりご審議をいただきありがとうございました。